

地盤工学（小峯秀雄）研究室 2026 年度卒業論文の実施方針

地盤研 Web サイト (<https://hkomine.w.waseda.jp/>)

【地盤研の紹介】

『面白い実験研究をやろうぜ!』という考えで、学生さんの独自のアイデアで研究を進めています。そして、地盤工学研究室では、『地球のお医者さん』をスローガンに、21 世紀の地球・世界・社会に貢献するために新しい視点で“地盤工学”を展開しています。土・地盤は、魔訶不思議な振る舞いをします。そんな振る舞いを活用して、ネイチャーポジティブ・脱炭素社会・地球規模環境に資する新技術開発から原子力発電や火力発電などのエネルギー政策に貢献する研究、ICT 土木・宇宙土木に関する最先端技術開発、社会基盤施設に及ぼす地震や自然災害の軽減に係る実学的研究を展開しています。教授・小峯秀雄、吉川友孝講師、阮坤林助教、石井翔梧助手、川端淳一客員教授（鹿島建設）、そして多くの招聘研究員の皆様、国際色豊かな地盤研メンバーと、協働している各企業の皆様が温かく支援して、皆さんの成長を支援し見守ります。次代を担うリーダー的土木技術者を目指し、共に成長しましょう。2025 年度から、地盤研は新しい挑戦をしています。4 年生が社会情勢から考える自らの課題を、私たち・地盤研メンバーと議論しながら、卒業研究テーマを設定します。地盤研が対象とするものは、地球そのもの、もちろん、そこに構築される社会基盤施設（橋梁基礎、ダム、トンネル・道路、河川堤防、海岸・沿岸地盤、エネルギー施設）や、地下・地下水、鉱滓地盤、森林や海岸、自然斜面、都市副産物等社会環境工学で対象とするすべてです。

【地盤研の研究実績】

右の図は、地盤研が現在進めている実績のある研究テーマのイメージです。具体的には、右の QR コードからご覧ください。本物の最先端研究のタイトルなので、一見すると難しいと思われるかもしれませんが、“大丈夫!”です。このような研究実績を保有する先生や多くの先輩たちと議論をしながら、皆さんがパイオニアになる新しい研究テーマを発見していきましょう。また、一般的な防災・減災、環境保全に係る研究をしたい方もいらっしゃると思います。よくわかります。しかし、この一般的な・・・という観点は日本では、なかなか研究予算がつきません。早大地盤研では、エネルギー政策と関連付けて、より高度な防災・減災、環境保全に係る研究を行っています。すなわち、これらの研究の成果は、広く一般的な防災・減災、環境保全にも、より高いレベルで貢献できます。皆さんと議論して内容を詰め、世界に一つしかない研究にしていきましょう!

【研究活動での成長過程】

毎週月曜日お昼休みの Weekly Meeting と 1.5 ヶ月に一度の Discussion Meeting で、皆さんの研究経過を確認し、支援・アドバイスをしていきます。また、数多くの学会に参加し、本物の研究を進めていきます。

